

第62回岸田國土戯曲賞受賞作品

神里雄大／岡崎藝術座

「バルパライソの長い坂をくだる話」東京公演

The Story of Descending the Long Slopes of Valparaíso

2019年8月21日(水)～25日(日)

@ゲーテ・インスティトゥート東京 東京ドイツ文化センター

Yudai Kamisato
Okazaki Art Theatre

バルパライソの長い坂をくだる話

神里雄大／岡崎藝術座

2019年8月21日(水)～25日(日)

ゲーテ・インスティトゥート東京
東京ドイツ文化センター

アルゼンチン・ブラジルのキャストとともに、全編スペイン語で上演。

2017年11月にKYOTO EXPERIMENT2017メインプログラムとして世界初演を迎え、
第62回岸田國土戯曲賞を受賞した注目の作品が、ついに東京で再演！
アルゼンチン・ブラジルのキャストとともに、全編スペイン語で上演。

お問い合わせ

*宣伝取材、本作へのお問い合わせ等は下記までご連絡ください。

株式会社precog (プリコグ) 【平日10:00～19:00】 担当：水野恵美

〒152-0021 東京都目黒区柿の木坂1-24-15

MAIL : info@precog-jp.net TEL : 03-6825-1223 FAX : 03-6421-2744

ストーリー

夫／父親の遺灰を海に撒きにやってきた人の話、
太平洋を越えた遙か昔の人類の話、
南米パラグアイで観測された皆既日食の話、
沖縄の地で今も眠る戦没者の骨を発掘する男や
小笠原でバーを経営する男の話——
オセアニアや小笠原や琉球の諸島、
ラテンアメリカの各国を自身で歩き集めたエピソードが織りなす
“メッセンジャーとしての演劇”。
自身の劇言語を確立し、文学界からも注目を集める神里が「移動」で歴史を切り拓く。

作品解説

アルゼンチンに11ヶ月間滞在した神里が南米各地を訪ねて紡いだ物語。そこで出会ったアルゼンチンの俳優・ダンサーと、日系移民の家系生まれでブラジル育ち、欧州でも注目を集めるダンサーのエドゥアルド・フクシマが、その物語を体現。地球の反対側からやってきた彼らが自分たちの言葉で語る演劇。

2段ベッドや教会や屋台も置かれ雑多な異空間の客席は、建築ユニットdot architectsによるもので、そこに看板屋「看太郎」の廣田碧の書き割りによる幻想的な設えで舞台は彩られる。この珍妙なマッチングのもと観客は自由に自分の居場所を見つけることになる。

神里雄大 創作ノート

演劇の持つ機能のうち、「伝聞」にぼくは重大な関心を持っている。誰かの言葉を、別の誰かがしゃべり、それをまた別の誰かが聞く。誰かのことに想像を巡らせることが、自らの言動に影響する、という一連の循環が演劇の根本なのではないか。

この作品で登場人物たちはたがいに知らせ合っている。その知らせが積み重なり、作品全体がひとつの大きな伝聞として、観客にもたらされる。これは移動の話であり、土地の移動のみならず、生から死へ、そして死から生への移動のこともある。移動の積み重ねが受け継がれ、歴史を作る。そういう「伝聞」の作品である。

第62回岸田國土戯曲賞 選評

南米に生まれた彼にしか書けない、その特殊な身の丈が作り出した、他にはない世界である。

野田秀樹

対象の関心領域が国境に限定されないこと。物理的に難しいことでは必ずしもないはずなのに、その実践は少ない。神里氏は実践者のひとりだ。日本語を、日本語で行なわれる演劇を拓いたものにできる人の一人である。日本語を、日本を、換気できる言葉を書く人だ。

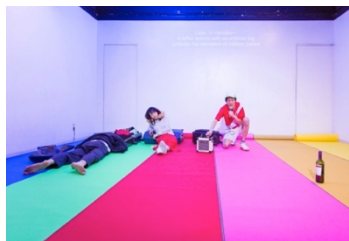
岡田利規



プロフィール

岡崎藝術座

2003年結成。2006年『しっぽをつかまれた欲望』で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2012年『レッドと黒の膨張する半球体』で台北アーツフェスティバル、2016年『+51 アビアシオン、サンボルハ』でシドニーフェスティバル、フェスティバル・ドートンヌ・パリなど海外招聘も多数。2018年『バルパライソの長い坂をくだる話』で第62回岸田國土戯曲賞受賞。沖縄系ペルー人と北海道系日本人にルーツをもつ神里ならではの想像力で、南米などで採集したエピソードから移民の物語を紡ぐ。



『+51 アビアシオン、サンボルハ』(2015)



『イスラ！ イスラ！ イスラ！』(2015)



『バルパライソの長い坂をくだる話』(2017)



神里雄大

1982年、ペルー共和国リマ市生まれ。作家、舞台演出家。父方は沖縄出身のペルー移民。10代の数年をパラグアイ共和国、アメリカ合衆国などで過ごす。文芸誌「新潮」に戯曲が掲載され、ソウル、香港、台北、ニューヨークなどで翻訳戯曲が上演されるなど、その作家性に注目を集めている。『亡命球児』（「新潮」2013年6月号掲載）によって、小説家としてもデビュー。2016年10月より、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてアルゼンチン・ブエノスアイレスに1年間滞在。2011年度～2016年度公益財団法人セゾン文化財団ジュニア・フェロー。ウェブマガジンあき地（亜紀書房）で連載中。



マルティン・チラ

1981年アルゼンチン・ブエノス・アイレス生まれ。子どもの頃から演技を始め、演劇、ダンス、映画、テレビなどパフォーマーとして幅広く活動するほか、ビジュアル・アーティストとも作品作りをしている。演技に加え、ドラマトゥルギー、脚本を学び、タデウシュ・カントル研究などリサーチも行う。レオン・ロシチナー、ジャック・ランシエールなど哲学者の講義にも参加し、アラン・バディウとパフォーマンス創作も行なっている。舞台俳優としてはフェデリコ・レオン演出作品ほか、さまざまな演出家の作品に出演。自身が監督した短編映画は、映画祭Cine Inusual de Buenos Aires及びチリのタラパカ国際映画祭に参加。



マルティン・ピロヤンスキー

1986年アルゼンチン・ブエノスアイレス生まれ。12歳よりテレビ及び舞台での俳優活動を開始。俳優として、劇団「GRUPO SANGUINEO」の作品に参加。19歳より映画での活動を始め、俳優として映画に出演するほか、自身の監督作品も発表。短編映画『No meama』は高い評価を得た。長編映画に加えインターネットで発表するウェブ映像シリーズの監督を手がけ、最新作は『El Galan de Venecia』。



マリーナ・サルミエント

1979年アルゼンチン・コルドバ生まれ。パフォーマー、ダンサー、振付家、演出家、講師。コルドバ国立大学で社会福祉の学位を取得後、ラプラタ国立大学でダンス及び振付分析を学び、ダンス、演劇、実験音楽、ビジュアルやパフォーマンスの研究を行う。現在は、自身の振付作品に加え、南米各地のアーティストたちともコラボレーションも積極的に行う。これまでに、国内外から支援を受け、振付家、ダンサーとして、一流アーティストたちとのプロジェクトに多数参加。また、身体表現・トレーニングとヨガのクラスも定期的に教える。自身の創作活動について学術的な機会においても執筆・発表している。



エドゥアルド・フクシマ

1984年ブラジル・サンパウロ生まれ。振付家、ダンサー、講師。サンパウロ・カトリック大学の「コミュニケーション・ボディ・アーツ」コースで学び、ダンスの学位を取得し卒業。2004年から、自身のソロ作品で様々な賞を受賞し、なかでもロレックス・メンター & プロトジェ・アーツ・イニシアティブ2012/2013 受賞により、台湾のクラウド・ゲイト舞踊団芸術監督の林懷民に1年間師事。これまでに、作品発表のため、南米やヨーロッパ各国、カナダ、台湾での国際フェスティバルやプロジェクトへの招聘多数。2009年より太極拳とダンスのクラスも教えている。

公演詳細

作・演出：神里雄大

美術：dot architects、廣田碧

出演：マルティン・チラ、マルティン・ピロヤンスキー、マリーナ・サルミエント、エドゥアルド・フクシマ

会場

ゲーテ・インスティトゥート東京 東京ドイツ文化センター

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56

地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線 青山一丁目駅 4(北)出口より徒歩7分

公演日程

2019年8月21日（水）～25日（日）

8月21日（水）	8月22日（木）	8月23日（金）	8月24日（土）	8月25日（日）
		14:00★	13:00	14:00
19:30	19:30	19:30	18:00	

スペイン語上演（日本語・英語字幕付）

★アフタートーク開催 ゲスト：アルベルト城間（DIAMANTES（ディアマンテス）ヴォーカル）

チケット料金（全席自由席）

一般：4,000円 平日割：3,500円 学生：2,800円☆

☆要証明

※当日券は前売券+500円

チケット発売日

2019年6月22日(土)10:00～

クレジット

ドラマツルク：野村政之

翻訳：ゴンザロ・ロブレド

衣裳：大野知英

照明：筆谷亮也

音響：西川文章

舞台監督：大久保歩（KWAT）

英語字幕翻訳：オガワアヤ

日本語字幕作成：川崎陽子、野村政之、神里雄大

製作：KYOTO EXPERIMENT

宣伝美術：吉田健人（bank to）

企画制作：株式会社precog

主催：岡崎藝術座、株式会社precog

提携：ゲーテ・インスティトゥート東京 東京ドイツ文化センター

後援：アルゼンチン共和国大使館

助成：芸術文化振興基金、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

チケット取扱

precog（Peatix）

<https://precog-tickets.peatix.com>

ローソンチケット（Lコード：30019）

<https://l-tike.com/okazaki-art-theater>

TEL：0570-000-407

（オペレーター対応 10:00～20:00）

ローソン・ミニストップ店内Loppiでも直接販売

チケットぴあ（Pコード：495455）

<https://t.pia.jp>

TEL：0570-02-9999（音声ガイダンス 24時間受付）

ウェブサイト

岡崎藝術座ウェブサイト

<https://okazaki-art-theatre.com>

『バルパライソの長い坂をくだる話』特設ウェブサイト
<http://valparaiso.strikingly.com>